

1 教育目標（目ざす児童像含む）

○ よく考え、学ぶ子ども（知） ○ 自分を見つめ、つくせる子ども（徳） ○ 明るく、たくましい子ども（体）
～ かしこく・やさしく・たくましく ～

2 学校経営の理念（目ざす学校像含む）

自他の幸せの実現を目指し、変化の激しい21世紀を力強く生き抜くたくましい子どもの育成を目指す。そのために、全教職員の共通理解のもと、学習面においては、児童一人一人に応じたきめ細かな指導により基礎基本の徹底を図るとともに、認め合い、学び合う集団づくりに努める。生活面においては、積極的なあいさつの励行や時と場に応じた言葉遣いの指導など、礼儀正しく、誰に対しても思いやりの心をもって接する態度を育てる。また、地域、保護者との一層の連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印

○上河内地域学校園教育ビジョンに沿って地域の教育力を最大限生かした教育活動を展開する。

上河内地域学校園教育ビジョン

かしこくたくましいゆずっ子の育成 ～基本を身に付け、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう～

- （１）教育活動のねらいを明確にし、児童一人一人のよさの発見と伸長に努める。
- （２）児童の主体的活動を尊重し、認め合い、学び合う集団づくりに努める。
- （３）分かる、できる喜びを感じられる授業の実践に努める。
- （４）たくましい心と体の育成に向け、自己目標に挑戦する活動の充実に努める。
- （５）チームの一員として連携・協働しながら不断に指導力を向上させる一方、勤務時間を意識して職務を遂行する教職員を育てる。
- （６）「小中一貫教育・地域学校園」と地域協議会を充実させ、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印

【学校運営】○地域の教育資源等の積極的活用

- ・縦割り班「にこにこ班」の効果的活用
- 校内研修や地域学校園研修会を通じた教職員の資質・能力及びチーム力向上
- ・多様な児童の状況に応じた指導の充実
- ・学校リフレッシュデーなどによる勤務時間の意識化

【学習指導】・「上央小授業スタンダード」の共通実践

- 朝の学習タイムの充実
- ・家庭学習の習慣化

【児童指導】・ルールやマナーを守り、相手のことを考えて行動できる態度の育成

- いじめや不登校、スマホ対策の充実
- ・認め励ます指導の推進
- ・道徳の授業35時間（1年生34時間）の確実な実施

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 学校行事を活用した体と心のたくましさの涵養
- 投力や持久力などの体力向上
- 健康指導、安全指導の推進
- ・食に関する指導の充実

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
	A1 学校全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート	① 「かしこく、やさしく、たくましく」の合言葉の浸透を図り、笑顔と活気のある楽しい学校づくりを進める。保護者に対して、学年便りや、行事等での児童の活躍の様子を積極的に伝えていく。		

学 校 運 営 の 状 況	「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答80%以上 「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	② 縦割り班活動や食農体験などの特色ある活動で、児童が主体的に取り組める場を設定し、協力して活動させる。 ③ Q-Uの結果を分析し、支援が必要な児童を把握したり、日頃の観察をきめ細やかに行ったりして児童一人一人が生き生きと学校生活を送ることができる学級経営を行う。	
	OA2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生は大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答80%以上 「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 学びに向かう集団づくりのために、学びの時間を確保し、めあて・まとめ・振り返りなど授業の展開を工夫し、児童一人一人が意欲的に学習活動に取り組めるように支援する。 ② 職務の遂行に当たっては、キャリアや専門性、特性を生かし、達成課題を明確にし、創意ある取組を目指す。 ③ 保護者や地域住民に向けた各種便りの内容の充実に努め、児童の様子の紹介や協力依頼の発信等組織的な取組によりコミュニケーションの充実を図る。 ④ 来校者・電話・連絡帳などでの問い合わせには、速やかに丁寧に対応する。 ⑤ コンプライアンスアンケートを活用し、教職員間で問題意識をもって対応策を考える等、服務規律を守り、信頼される教職員を目指す。	
	OA3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 児童が正しく判断し責任ある行動がとれるよう、その姿を「上央っ子の誓い」「上河内中央小学校の約束」「上河内中央小学校の一日」「校庭での約束」に示し、学習と生活のきまりの徹底に努める。 ② 生活当番は、秩序があり安全な学校生活を実践できるよう週生活目標を設定し、掲示や放送、校内巡視などを行って意識付けをする。	

学 校 運 営 の 状 況	「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	③ 避難訓練(火災・地震・竜巻・不審者)、交通安全教室、緊急引渡し訓練の実施や「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」への理解等を通して、児童や保護者に対して正しい使い方とマナーを発信し、情報モラル教育を推進し、危機管理能力を高める。	
	○A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「教職員は児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 児童の関心や理解を促す教材開発や分かる授業のため、授業のねらいを明確にする、振り返りの時間を確保するなど「上央小授業スタンダード」による指導法の工夫に努めると共に、共有化を図る。 ② 算数科において、習熟度別学習、少人数学習、ＴＴを効果的に実施するとともに、かがやきルームやなかよし学級での個別指導等を通して、児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導をする。	
	○A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 〔全〕 【数値目標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 学校はいじめ対策に熱心に取り組んでいる」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 「上河内中央小学校いじめ防止基本方針」を改定し、保護者および地域に周知するとともに、方針に沿っていじめの防止に努める。 ② いじめの早期発見・早期対応のため、年度当初にいじめの実態調査の日程を決めて定期的の実施して実態把握に努めるとともに、年に２回定期教育相談を実施して問題の早期発見や信頼関係の醸成に努める。	
	A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。 【数値指標】 全体アンケート 「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 日課は、子どもにとってゆとりと秩序のあるものになるよう適切に実施する。 ② 新学習指導要領及び小中一貫教育の趣旨を踏まえ、「上央小スタンダード」に示す取組を実践するよう、各教科等年間指導計画・各種教育年間指導計画を見直すとともに、本校独自の教育活動を推進する。	

学校運営の状況	「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	③ 学校行事は、その都度評価し、改善すべき点について検討して次年度に生かす。	
	A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 学校だより、学年だより、保健だより、図書館だより、食育だより等様々な便りの作成において、関心を高める紙面の工夫に努めながら積極的に発信提供したり、ホームページを適宜更新したりして、保護者や地域住民に学校の取組を知らせる。 ② 授業参観、学校自由参観日、学校行事等において積極的に保護者や地域住民に学校を公開し、アンケートを実施して保護者や地域住民の意見を学校経営に反映させる。	
	○A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 学校支援ボランティアの活用や出前授業、校外学習などにおいて地域の人材や施設・設備等の教育力を生かした学習を充実させる。 ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」において、児童の健全育成を目指し、学校・家庭・地域の連携を深める事業を推進しながら交流の輪を広げる。	
	A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、清掃がしっかり行われ学習しやすい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 校舎内外の美化に努め、児童自ら日常的に清掃活動に取り組むよう支援し、快適な学習環境作りを目指す。 ② 日々校舎内外の巡視をするとともに、月1回施設・設備の安全点検を実施し、必要な箇所の修繕を迅速に行い学習環境の整備に努める。 ③ 適切に予算を執行し、指導計画に基づいて教材教具を整備してその適切な活用と管理に努める。	

学校運営の状況	○A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」 ⇒児童の肯定的回答80%以上 「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 5年生の冒険活動教室や6年生の乗り入れ授業・中学校訪問、小中合同あいさつ運動などの行事を通して、積極的な交流を図りながら活動することを目指す。 ② あいさつ運動などを通して、地域の一員としての自覚を高められるようにする。	
	○A11 多様な専門性を有する学校スタッフ活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答率80%以上	① 学力向上実践教員やかかがやきルーム指導員との連携を図って、学習内容や教材教具を工夫し、算数科の資質・能力の向上を図る。 ② A L Tとの連携を図って、学習内容や教材教具を工夫し、外国語活動の授業の充実を目指す。	
学校運営の状況	○A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図られている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答率80%以上	① 学校内において好ましい人間関係の醸成を図るよう努めることで、教職員と学校スタッフとが気軽に声をかけ合える雰囲気作りを行う。 ② 学校目標及び本年度の努力点について共通理解を図り、チーム学校として協働していくことで、同僚性を高められるようにする。	
	B1 教職員は情報を伝え合い解決に向けてそれぞれの役目を果たしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答率80%以上	① 管理職及び職員間の「報・連・相」を大切にし、互いに声をかけ合ってコミュニケーションを密にしながら、情報の共有に努める。 ② 問題行動発生時には、校長のリーダーシップのもと全職員が連携して組織的に取り組み、迅速かつ誠意ある対応を心がける。	
教育活動の状況	○A13 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・保護者の肯定的回答80%以上	① 年3回の「あいさつ名人」表彰や、地域協議会のあいさつ運動で意識を高めながら、日々の生活指導の中であいさつや返事ができる子の育成を目指す。	

教育活動の状況	生活	OA14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上 「児童は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%	① 相手の気持ちを考えた言葉づかいや場に応じた言葉づかいができる子の育成を目指し、生活と学習の両面から日常の指導を充実させると共に、道徳科の重点項目に掲げて指導の徹底を図る。 ② 朝の会や帰りの会、学校行事、学級活動等で、時や場に応じた適切な言葉づかいができるよう、学年の発達の段階に応じた指導をする。	
		B2 児童は学級や縦割り班の活動などで、仲よく助け合って生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「学級やにこにこ班の活動では、友達や下級生と仲良く過ごしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 日々の清掃活動や学校行事などで、縦割り班での活動の機会を設定し、学年の枠を超えて協力して仕事や活動ができるようにする。	
	健康・体力	OA15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上 「児童は、平日の授業後や休日などに積極的に運動している」 ⇒保護者の肯定的回答 70% 以上	① ミニム達成のための運動プログラムを実施して運動の日常化に努めるとともに、教科体育においては授業の開始時に授業内容に応じたサーキットトレーニングを適宜取り入れる。 ② 学級においては、水曜日のロング昼休みに共遊の時間を確保するように努め、体力向上を目指すとともに学級の人間関係の構築を図る。	
		A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、好き嫌いなく給食を食べている。(きらいなものでも 1 口は食べて	① 学校栄養職員の取組を生かし、教室やランチルームでの給食指導の充実を図ったり、保護者への啓発に努めたりしながら、バランスよく食べることの大切さを学年に応じて指導を行い、望ましい食習慣を育て食事のマナーを身に付けさせる。	

教育活動の状況		いる)」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上 「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている（嫌いなものでも 1 口は食べている）」 ⇒保護者の肯定的回答 70%	② 食事をとることの大切さについて、学年に応じた授業を通して理解を深めたり、給食便りや学年・学級懇談会で保護者への啓発を行ったりし、自ら実践する態度を育てる。	
		○B3 児童は早寝、早起きをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、早寝、早起きをしている」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80% 以上	① 「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性について学年・学級懇談会、個人懇談等を通して啓発を進めるとともに、早寝・早起きの習慣の定着の様子を把握し、実態に応じて基本的な生活習慣の確立に努める。	
	学 習	○A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は授業中に進んで話し合うなど積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 授業では、「学習のきまり」を全校で徹底し、基礎・基本の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの場を設定し、自分の考えを表現できる児童を育てる。	
			② 学び合いを通して、自分と友達の考えを比較させたり関連させたりしながら、深い学びの実現に努める。	
		○A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80% 以上	① 学習の基盤となる学習態度や学習技能を身に付けるために、学校全体で「学習のきまり」を決めて継続して取り組み、系統的な指導に努める。 ② 「話の聞き方」については、全教育活動を通して、学年の発達の段階を踏まえつつ、全職員による共通理解のもとで育成する。	

教育活動の状況	○A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒児童・保護者の肯定的回答80%以上	① 地域でのボランティア活動や行事について校内掲示や各種便り等を使って周知し、児童の参加を促すと共に家庭への啓発を行う。	
	○B4 児童は自主的に学習に取り組むなど、学習習慣が身に付いている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は自主的に学習に取り組むなど、学習習慣が身に付いている」 ⇒教職員・児童・保護者の肯定的回答80%以上	① 職員間で共通理解を図り、児童が自主的に学習に取り組めるように自主学習ノートや音読カードなど、具体的な方策を立て継続して指導していく。 ② 年度当初に全家庭に「家庭学習のすすめ」を配付し共通理解を図り、家庭と連携する。児童には「家庭学習への取組ポイント」を示し指導し低学年(10～20分)、中学年(30～40分)、高学年(1時間以上)の家庭学習を实践させる。また、学期1回「家庭学習名人」表彰を行い、児童の意欲を高める。	
本校の特色・課題等	○B5 学校は、田植えや稲刈りなど食農体験活動が充実している。〔全〕 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、田植えや稲刈りなど食農体験活動が充実している」 ⇒児童・保護者・地域住民の肯定的回答80%以上	① 全児童が食農体験事業で田植えや稲刈りを体験したり、5年児童が総合的な学習の時間で稲の観察や世話などを実践したりすることで農業や食への理解や関心を深める。	

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組に関わる内容は文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 学校運営について
2 教育活動の状況について
3 本校の特色について

6 学校関係者評価

1 保護者の結果から
2 地域住民の結果から

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

--